

大きく変わる学校

I G S (6 ヶ年特進) コース新設

八千代松陰中学校



八千代松陰高校は1978(昭和53)年に、文武両道の進学校をめざして創立された学校です。1982年に中学校を開校、中高一貫教育を進めてきました。主要教科の学習は、ホームルームとは別の「レッスンルーム」という多段階の習熟度別指導が特徴で、高校ではI G S(特進)・AEM(英数特進)・進学のコース制でさらにレッスンルームも行う、きめ細かい指導体制です。高校I G Sコースには学力上位の内部進学生のためのクラスがあり、高い難関大学合格実績をあげていますが、2024年度から、先取り学習をさらに進める、完全中高一貫のI G S(6 ヶ年特進)コースを新設します。在来コースは「レッスンルームコース」の名称になります。

1. I G S (6 ヶ年特進) コースの教育内容

I G Sは「Intercultural General Studies」の略で、「最難関大学への進学」「キャリアデザインの構築」「グローバル感覚の確立」の3つが目標です。現在は高校入学生と合同クラスになることもあるため、大きな先取り学習は行わず、学力上位生で高校I G Sコースを編成していますが、新設コースでは高校入学生との合同は考えず、大幅な先取り学習で中高6年間のカリキュラムを高2までで終わらせ、高3では大学受験に特化したプログラムでの実践力の強化を徹底します。新設コースでは、東大・京大をはじめとする国公立大20名、早慶上理30名を目標にします。

また、高校I G Sコースで行っている「I G Sセミナー」(研究者や大学教授による講義、企業・大学訪問など、多彩な活動)に、中学I G Sコース生にも積極的に参加させ、「進路意識の醸成」に取り組んでいきます。さらに、I G Sコース生には中高両方で、希望制の海外研修を実施する予定です。中学では海外の姉妹校でのプログラム、高校では高校I G Sコースの「創造性や独創性を養うアメリカ西海岸でのプログラム」または、AEMコースの「ニューヨーク州立大学教授陣による留学体験」に参加を予定しています。

2. I G S (6 ヶ年特進) コース生の学校生活

新設のコースは30名1クラスで、月曜日と火曜日に各70分の特別講義を行います。それ以外はレッスンルームコースと同じように学校生活を送ります。クラブ活動、体育祭、修学旅行なども一緒に参加します。スポーツに限らず、勉強とこうした活動の両方を、高いレベルで両立する「二刀流思考」の学校生活めざします。

3. 2024年度入試について

推薦入試では、従来からの自己推薦(12月1日)、学科推薦(12月2日)とは別に、12月1日にI G Sコースの特待推薦を行います。試験問題は従来より高難度の出題で、レッスンルームコースへのスライド合格はありません。一般入試では、1月20日の4教科入試で、出願時にI G Sコースとレッスンルームコースの選択をし、I G Sコース出願の場合は結果によってレッスンルームコースへのスライド合格があります。今までより難度の高い問題も出題します。1月21日の2科4科入試はレッスンルームコースだけの入試、2月5日の2科入試もレッスンルームコースの入試ですが、2月5日の入試については、特に優秀な受験生にはI G S合格を認める場合があります。